

方剂名	効能	生薬組成	
		主治および証	病機 方意
補益剤 補気剤 3			
りっくんしとう 六君子湯	補気健脾・和胃降逆・理気化痰	人参 6g・白朮 9g・茯苓 9g・半夏 9g・陳皮 6g・炙甘草 3g・生姜 6g・大棗 2g (四君子湯の組成 + 小半夏湯の組成 + 陳皮・大棗) に相当する。 水煎し服用する。	
医学正伝	<p><主治> 脾胃気虚、痰湿 元気がない、疲れやすい、四肢の無力感、食欲不振、消化が悪い、少食あるいは食べられない、悪心、嘔吐、腹満、慢性の咳嗽や喘鳴、多痰、泥状～水様便、舌質が淡胖で嫩、舌苔が白膩、脈が細で無力などを呈す。</p> <p><病機> 脾の運化と胃の受納の両面が不足した脾胃気虚で、運化不足による痰湿の生成もみられる。 脾気虚の症候と共に、小食、食べられないなど胃の受納不足や、悪心、嘔吐、腹満など胃気上逆の症候がみられる。一般に、脾気虚が進行して胃気にも波及すると、脾胃気虚が現われる。さらに、脾運不足により水湿が停滞して痰湿を形成し、「脾は生痰の源、肺は貯痰の器」で肺に影響が及ぶと、慢性の咳嗽、喘鳴、多痰など痰湿阻肺の症候が生じる。舌質が胖、舌苔が膩は痰湿を表わしている。</p> <p><方意> 健脾益気を基本にし、和胃降逆により胃納を回復させ痰湿を除去する。 本方（六君子湯）は益気健脾の四君子湯（人参・白朮・茯苓・炙甘草）と和胃降逆の小半夏湯（半夏・生姜）の合方で、さらに陳皮・大棗が加えられている。 和胃降逆、止嘔の半夏・生姜・陳皮で胃気を通降させて受納を回復し、大棗・生姜で営衛を調和させる。 なお、半夏・陳皮・生姜は理気化痰、止咳に、白朮・茯苓は化湿利水に働き、痰湿を除去することにより喘咳、多痰を改善する。</p> <p><参考> 本方（六君子湯）は、和胃降逆と補気の組み合わせであり、胃気虚の基本方と考えてもよい。 日本での保険適応効能、効果 胃腸の弱いもので、食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすいものの次の諸症；胃炎、胃アトニー、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐</p>		
こうしゃりっくんしとう 香砂六君子湯	益気健脾・理気和胃・止痛	六君子湯 + 木香・砂仁各 6g 水煎し服用する。	
和剤局方	<p>主治は、脾胃気虚の寒滯阻滯で、痰湿、氣滯があきらかで、暖気、嘔吐、腹満、腹痛、下痢などを呈する。 六君子湯に理気止痛、化湿止瀉の木香と、温胃止嘔、理気止痛、止瀉の砂仁を配合し、吐瀉、腹痛、腹満を解消する。</p>		
さきくりっくんしとう 檀麴六君子湯	益気健脾・和胃降逆・消導理気	六君子湯 + (山楂子・神麴・麦芽各 6g) 水煎し服用する。	
医卓	<p>主治は、脾胃気虚の食滯、氣滯 六君子湯に理気消導の山楂子・神麴・麦芽を加え、消化を強める。</p>		
おうれんりっくんしとう 黄連六君子湯	益気健脾・清熱化痰	六君子湯 + 姜汁炒黄連 3g 水煎し服用する。	
医統正	<p>主治は、脾胃気虚、痰湿化熱で呑酸、胸やけなどを呈するもの。 六君子湯に姜汁炒黄連を加え、半夏・陳皮と共に清熱化痰する。 呉茱萸を加えて左金丸の方意を付加すると、胃痛にも奏効する。</p>		
さいしゃくりっくんしとう 柴芍六君子湯	益気健脾・疏肝止痛	六君子湯 + 柴胡 9g・白芍 6g 水煎し服用する。	
和剤局方	<p>主治は、脾虚肝乘による肝脾不和で、胸脇部が張って苦しい、腹痛、月経痛、下痢など肝気鬱血の症候を呈し、情緒の変動と共に症状が強くなるものである。 六君子湯に疏肝の柴胡と、柔肝止瘕の白芍を加えて、肝脾を調和させる。</p>		
きしゃくりっくんしとう 帰芍六君子湯	益気健脾・補血調経	六君子湯 + 当帰・白芍各 6g 水煎し服用する。	
和剤局方	<p>主治は、脾胃気虚に、頭がふらつく、目がかすむ、皮膚につやがない、月経不順などの血虚を伴うものである。 六君子湯に補血調経の当帰・白芍を加えている。</p>		